

## <BIT シリーズの使い方>

- ①OpenSignals ソフトウェアを、ご自身の PC にダウンロードしインストールをしてください。  
<https://support.pluxbiosignals.com/knowledge-base/introducing-opensignals-revolution/>
- ②バッテリーの電源スイッチを ON にしてください。 (写真赤丸部分を左にすると ON です👉)
- ③お使いの PC が Windows  
👉 Windows タスクバーで Bluetooth アダプタをアクティブにしてください。  
  
お使いの PC が MacOS  
👉メニューバーの右上を確認し、 Bluetooth をオンにし、  
Bluetooth 環境設定を開いてください。
- ④PIN コード : 1234 を入力し、ペアリングを開始します。  
(BLE/BT 版の場合、PIN コードは不要です)
- ⑤OpenSignals を起動した後、サーチボタンをクリックして BITalino を探してください。
- ⑥BITalino が有効になっている (=ENABLE ボタンが青色になっている) ことを確認したら使用開始です。



注 : BITalino のアナログポートは全部で 6CH あります。(裏面に A1~A6 と記載があります。)  
そのうちの 4CH までご利用される際は、分解能は 10bit での計測は可能です。  
しかし、5CH 以上を使う場合、1CH~4CH は 10bit ですが、5CH~6CH の分解能は 6bit となります。ご注意ください。  
グラウンドケーブルは、アナログポートに接続してください。

## 裏面



デュアルモード BLE/BT 版は、どちらの通信にも対応できる基板を搭載していますが、通常はパソコン内蔵の Bluetooth 接続でペアリングされますので、Bluetooth 通信となります。

**\*Bluetooth 通信：サンプリングレートは、6ch 全て 1KHz に設定可能**

BLE 接続をしたい場合（1ch のみで長時間計測をしたい場合など）は、**別途 BLE 専用の USB アダプタが必要となります。**

**\*BLE 通信：サンプリングレートは、1ch のみ 1KHz に設定可能、その他は 100Hz**

（BIT シリーズに付属されている USB ドングルは、BLE 専用ドングルではなく BT 専用ドングルとなります。）

・ソフトウェアの詳しいユーザーマニュアルは、こちらからダウンロードできます。

[https://support.pluxbiosignals.com/wp-content/uploads/2021/11/OpenSignals\\_Manual.pdf](https://support.pluxbiosignals.com/wp-content/uploads/2021/11/OpenSignals_Manual.pdf)

・チュートリアル

<https://support.pluxbiosignals.com/article-categories/tutorials/>

・API

<https://support.pluxbiosignals.com/knowledge-base/official-plux-application-programming-interfaces-apis/>  
<https://github.com/BITalinoWorld>

・サポート

<https://support.pluxbiosignals.com/article-categories/bitalino/>

